

平成27年度冬号

# 和敬だより



福井県和敬学園  
〒910-3642  
福井市本折町 48-2  
TEL.0776-98-3027  
FAX.0776-98-8282  
e-mail [wakei@pref.fukui.lg.jp](mailto:wakei@pref.fukui.lg.jp)

## ●園遊会 10月18日(日)

前号でお知らせしたように、今年の園遊会は例年とは違う形を取りました。より「文化祭」としての特色を出すことができたのではないかと思います。

昨年からの大きな変更点は、児童たちによる発表です。男子はソーラン節と和太鼓、女子はダンスと手話を交えた合唱を行いました。

男子寮の和太鼓に関しては、地元の和太鼓演奏チーム『清水鼓友会』の方々から直接ご指導をいただきながら、発表できる形に仕上げることができました。これまでの練習の成果を十分に発揮できた発表だったのではないのでしょうか。

女子は、一青窈さんの『ハナミズキ』を手話で合唱しました。この日に向けて練習を重ね、本番では多くのお客さんの前で堂々と発表することができました。

また、『THE☆和敬～私にとっての和敬学園～』と題して、夏休み中に子どもたちが作成したポスターや詩、工作などが展示され、来賓の方々による投票が行われました。

昼前からは、気持ちの良い秋晴れの下、子どもたちが作成した竹プランターや小物などの販売のほか、焼き鳥や豚汁のセット、おでんやおはぎなどが各寮で販売され、大変にぎわっていました。



## ●菊花マラソン 11月3日(火)

スポーツの秋です。学園の子どもたちは年に2回、春と秋のマラソン大会に出場しています。春の坂井市古城マラソンから5か月、夏の暑い最中でも、前回より少しでもタイムを縮めようとグラウンドを走り、トレーニングを重ねてきました。

当日の競技時は何とか天候に恵まれ、勇んで駆け出した子どもたちは、周囲からの声援にも励まされながら走り切っていました。

## ●収穫感謝祭 11月11日(水)

和敬学園では午後の日課の時間に、子どもたちが園内の農場で作業をして野菜を育てています。収穫された野菜は厨房に届けられ、子どもたちの食事に使われます。秋には、食べ物の大切さを考える機会として収穫感謝祭が行われます。栄養士による講話も行われ、子どもたちは、農場指導員や栄養士、調理師の方々に感謝の気持ちを作文で読み上げます。その後は各寮に戻り、会食が行われました。野菜をたっぷり使用したおでんなどを子どもたちは舌鼓を打ちながら、食に対する感謝の気持ちを一緒に噛みしめているかのようにでした。

### 冬の行事予定

10月	11月	12月	1月	2月	3月
10日 英語検定試験	3日 菊花マラソン	14・15日 期末試験	8日 第三学期始業式	4日 学習・意見発表会	下旬 卒業生を祝う会
16日 漢字検定試験	18日 園遊会	12日 修学旅行(女子)	身体測定・内科健診	27日 スキー訓練	中旬 春帰省
		18日 修学旅行(男子)			
		24日 終業式			
		25日 もちつき			
		27日 年末年始帰省			

(～1/5まで)

### 秋・冬の行事

## ●期末テスト 12月14日(月)～15日(火) / 終業式12月24日(木)

二学期制の学校が増えてきた昨今ですが、和敬学園では三学期制を取っています。したがって、冬休み前には学期末テストが行われます。日頃は午前中で授業が終わってしまいますので、中間テストは行われません。子どもたちは一学期分の授業範囲の中で期末テストを受けることになります。

子どもたちの中には、期末テストに非常に意欲を見せる子もいて、テスト範囲が知らされるや否や勉強に取り組み、期末テストでは高得点を取った子もいます。いろいろな事が理解できて、様々な事を知る喜びを得る一助になれば、と思います。

また、終業式前には教室などを清掃し、一学期分の汚れを落とし、気持ちよく年末年始を迎えることになりました。

## ●北陸三県バレーボール大会(石川) 12月22日(火)

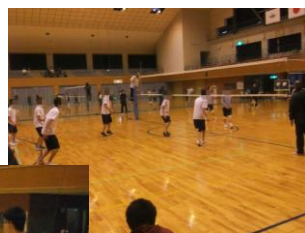


第5回目となる北陸三県児童自立支援施設バレーボール大会が石川県の津幡運動公園体育館で開催されました。

前回の大会後からも子どもたちは一生懸命に練習に取り組み、春と秋のマラソン大会の前を除くすべての部活の時間をバレーボールに充ててきました。

一年前の悔しさを糧に練習に取り組んできた子どもたちは自信に満ちた表情で大会に臨みました。

子どもたちは本番で、これまでに見せたことのない気迫あるプレーを見せ、チーム一丸となって石川、富山と戦いました。



男子は石川にフルセットまで持ち込んだものの、惜しくも破れ、富山とも接戦になりましたが、こちらも惜敗という結果になりました。

女子は、石川相手にキレのあるサーブでレシーブを許さず、勝利。富山との試合ではあと一步というところで勝つことができませんでした。

男子は3位、女子は2位という結果でしたが、練習の成果と、チームが一丸となる体験に子どもたちの表情も、悔しいながらも晴れ晴れとしていました。

## ●もちつき大会 12月25日(金)

和敬学園では、臼と杵を使ってもちつきをしています。機械を使っておもちつきをする家庭も減ってきているようですが、伝統的な行事を子どもたちには体験してもらっています。今年は臼取りに挑戦する子どももおり、昼食には自分たちでついたおもちをお腹いっぱい食べていました。



## 編集後記

園遊会に来て頂いた方は、和太鼓やソーラン節の発表、手話を交えた合唱など従来とは異なった園遊会はいかがだったでしょうか。和敬学園の伝統となっていけるといいと思っています。また、バレー大会は残念な結果でしたが、職員も初めて見る子どもたちの気迫あるプレーに胸を打たれました。2月には学習・意見発表会と出身学校連絡会を予定しております。子どもたちのさらなる成長を感じていただけたと思います。(松田)